

2021-2022

Sylphide

&

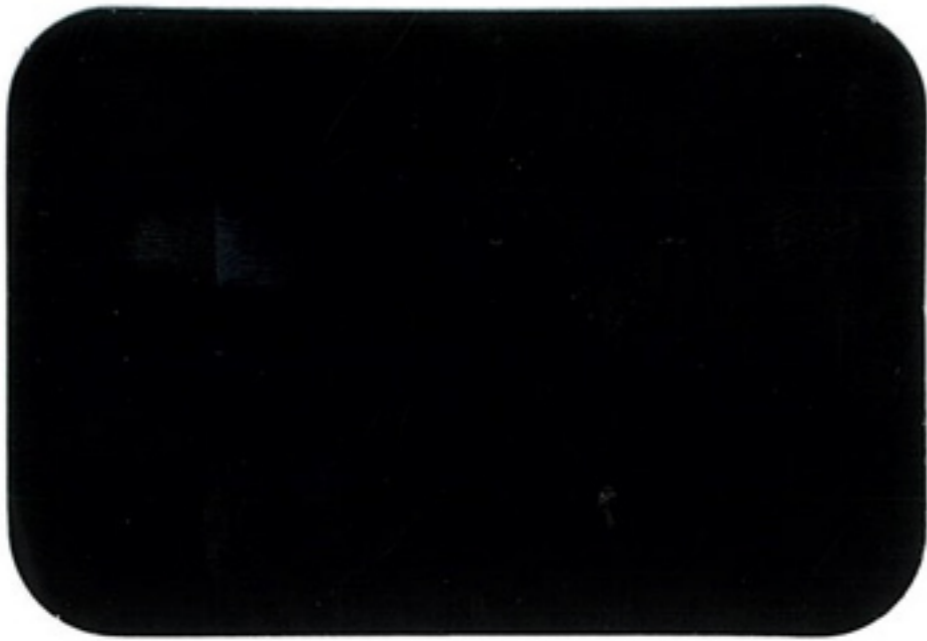
LUMICOOLSD[®]

IKC

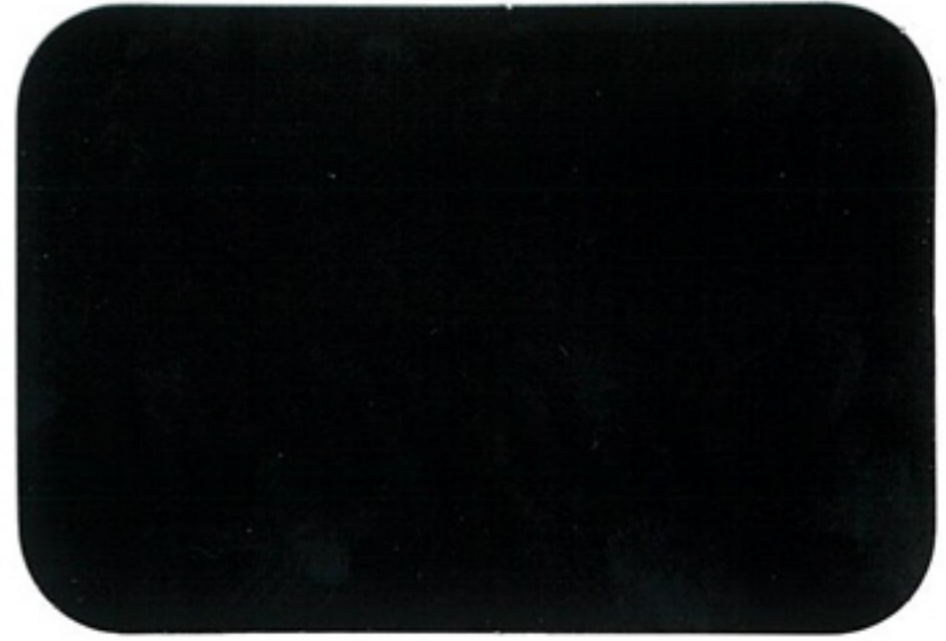
CAR FILM ALL Line-up

Sylphide

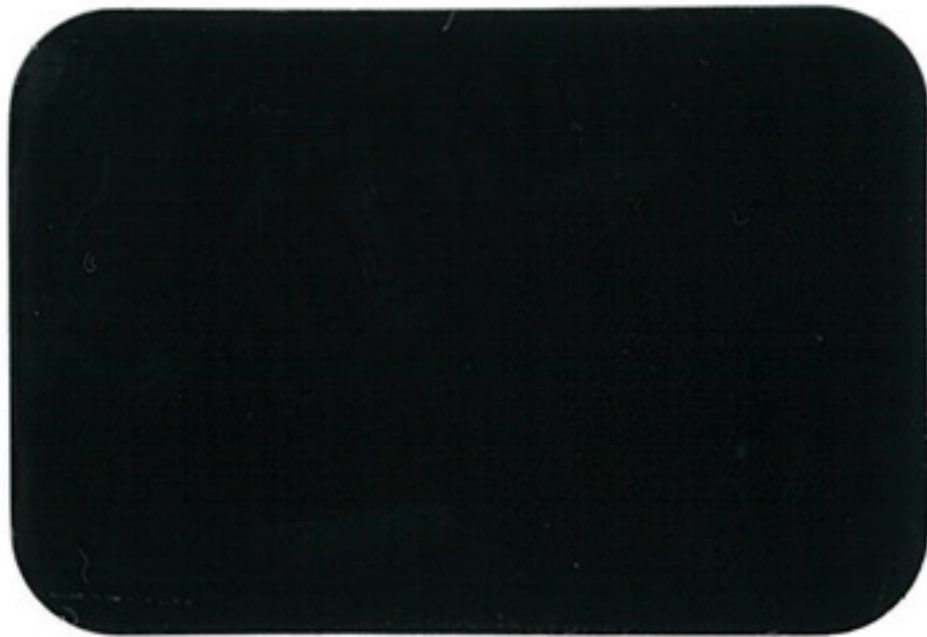
車外側から見たカラーサンプルです。
(サイズ1070mm×25M)



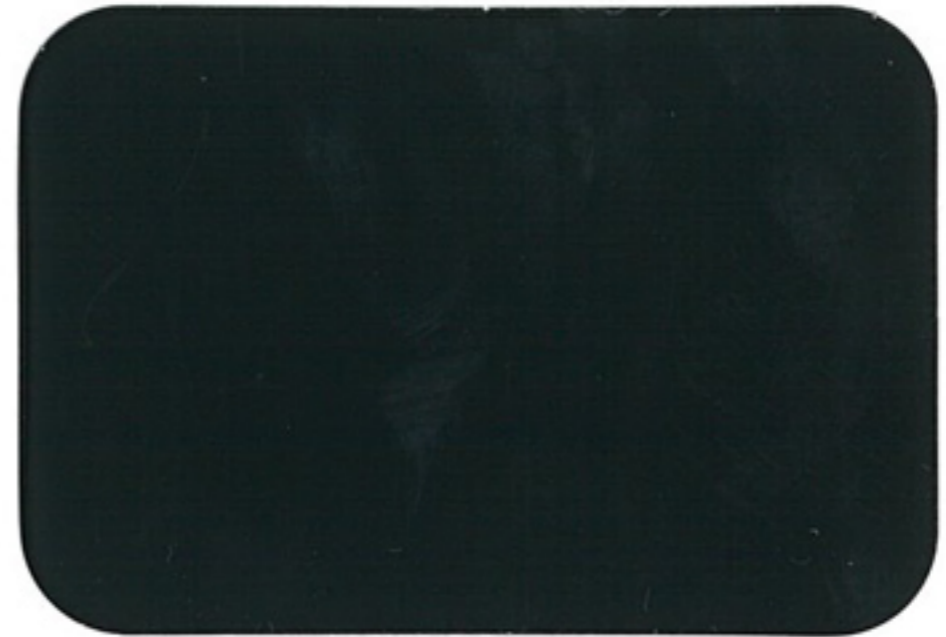
SC-7003



SC-7008



SC-7015



SC-7020



SC-7030



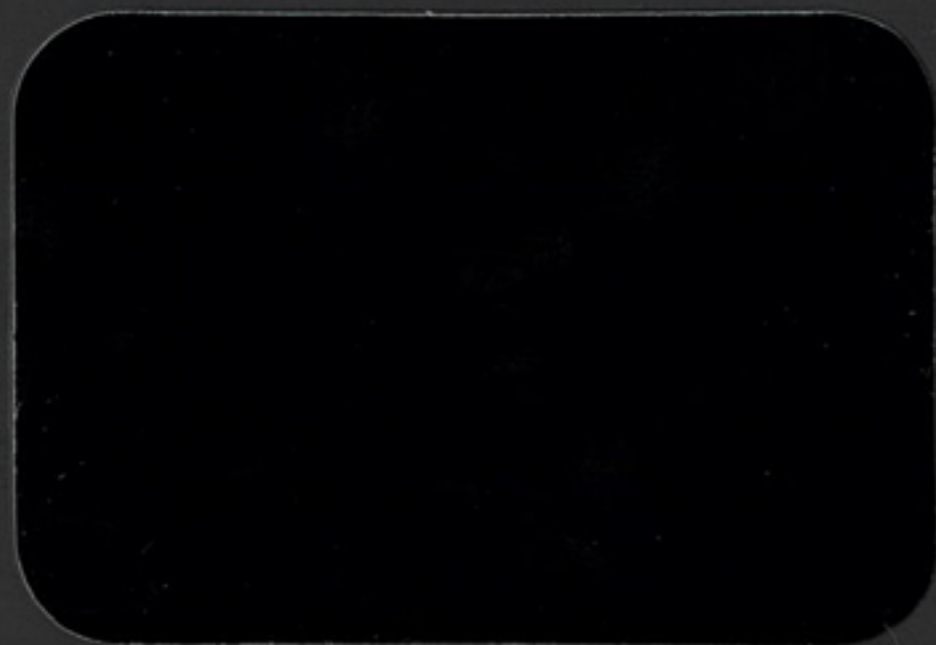
SC-7045



FGR-500

Sylphide

車内側から見たカラーサンプルです。
(サイズ1070mm×25M)



SC-7008



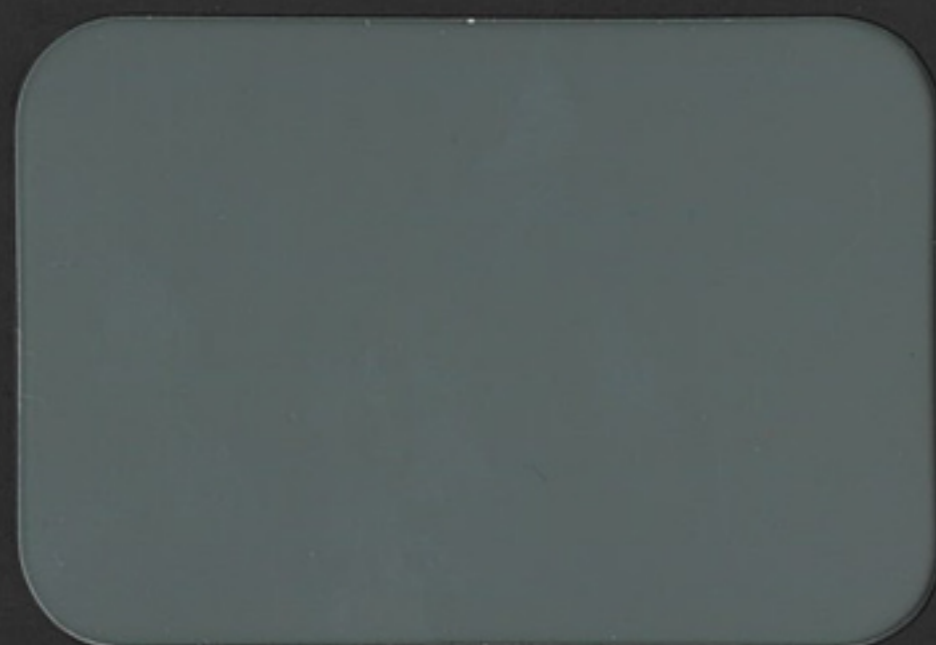
SC-7003



SC-7020



SC-7015



SC-7045



SC-7030



FGR-500

日焼けを防ぐUVカット機能

シルフィードは、スモークフィルムの単なる目隠し効果だけではありません。内装とお肌の日焼けを防ぐため、全てのフィルムで99%の紫外線カットを実現しています。



※UPF(Ultraviolet Protection Factor)とは、オーストラリアやアメリカなどで一般的に使われている紫外線防止指数で、「どのくらい日焼けを防ぐか」を示す値です。UPF値が高いほど日焼け防止効果が高く、UPF50以上はすべてUPF+と表記され、最高値となります。

赤外線を抑えて涼しく快適な空間へ

暑さを感じる
赤外線を
90%以上
カット

明るさを選んで
プライバシーを
確保

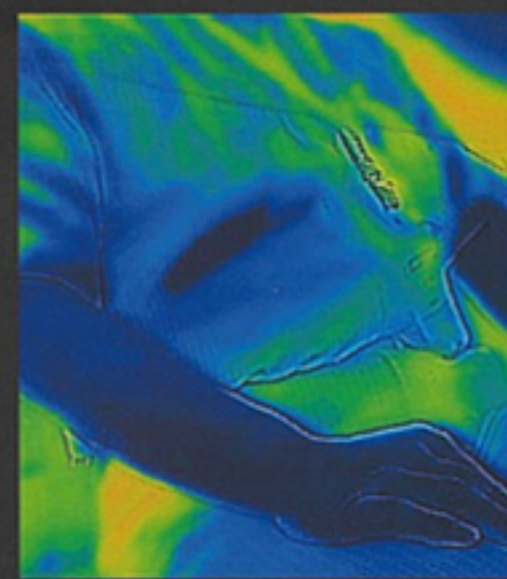
有害な紫外線を
99%以上
カット

シルフィードは、お好みの濃さ、お好みの色のフィルムで赤外線を90%以上も遮断して車内の温度上昇を抑えるので、クリアな視界を確保しながらドレスアップと快適性を両立できる高機能フィルムです。

※熱、温度、暖かさなどにかかわる赤外線領域は1500nm以上の波長です。この領域の波長を効率よく反射・吸収する事によって車内へ入り込む赤外線を90%以上減らす事を可能にするテクノロジーを採用したのがシルフィードです。

クリアな視界の確保と飛散防止効果でより安全に長期間の使用でも色あせが少なく、クリアな視界をお約束します。高い耐久性と柔軟性を保ち、万が一の事故の際、割れたガラスの飛散防止にも役立ちます。

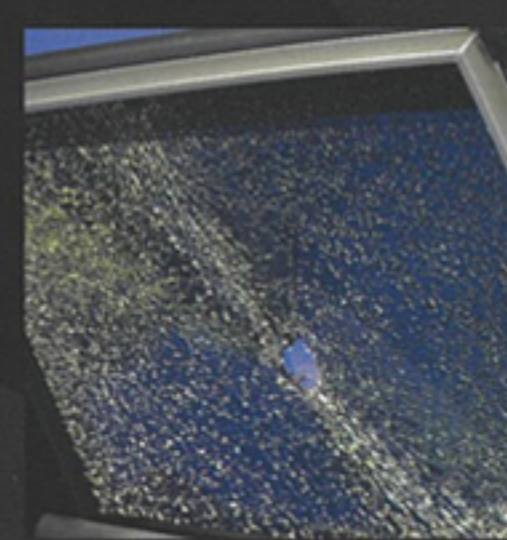
※車内と車外との明るさの差で見え方が異なります。お好みの色のシルフィードをお確かめの上ご指定ください。



フィルム施工済



フィルム未施工



フィルム施工済



フィルム未施工

Sylphide 光学特性

遮蔽係数とは、3mmフロートガラスを1.00として太陽光線の流入熱量を表した数値です。数値が小さい程、日射しによる室温上昇を防ぎエアコンの効率が良くなる傾向にあります。

品番	可視光線透過率(%)	紫外線カット率(%)	赤外線カット率(%)	日射反射率(%)	日射吸収率(%)	日射透過率(%)	遮蔽係数	備考
一般スモーク(染色タイプ)	13	99	17	5	49	46	0.72	
SC-7003	3	99	92	6	66	28	0.58	
SC-7008	7	99	92	6	63	31	0.59	
SC-7015	13	99	92	6	60	34	0.61	
SC-7020	20	99	92	6	58	36	0.63	
SC-7030	30	99	92	6	52	42	0.67	
SC-7045	46	99	92	6	45	49	0.72	
FGR-500	89	99	90	7	23	70	0.89	可視光線透過率70%以上で、運転席・助手席の窓に使用可能
3mmフロートガラス	91	35	—	8	7	85	1.00	

※上記データ(紫外線カット率は除く)は3mmフロートガラスにフィルムを貼り付け「自動車窓ガラス用フィルムJIS S 3107」に基づき測定した実測値であり、保証値ではありません。

※赤外線カット率は1500nm~2100nmでのカット率の平均値です。 ※日射率は350nm~2100nmでの実測値です。

※飛散防止効果：ガラスに衝撃を受けた場合の飛散を軽減し、万一災害の対策にも有効です。 JIS S 3107のガラス飛散防止性能を満たす。 ※

選ばれるには理由があります。

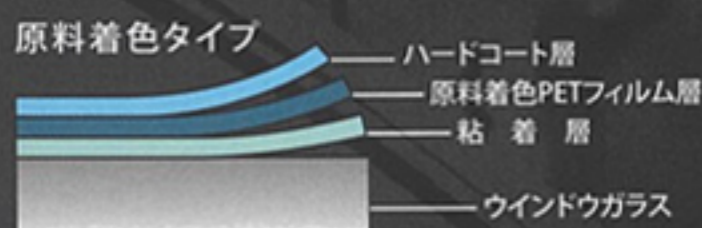
ルミクールSDは、スモークフィルムの単なる目隠し効果だけではありません。経年退色が極めて少ない着色加工技術はもちろん、安定した冷暖房効果をアップする熱線遮断効果や断熱効果、内装を守り目焼けを防ぐため、全てのフィルムで99%の紫外線カットを実現しています。ガラスの飛散防止効果で高い安全性を保ち、ハードコートタイプでキズにも強いカーフィルムです。信頼の品質と性能こそが、カーケアのプロフェッショナルに愛され、選ばれる理由だと考えます。



色あせや変色しにくいカーフィルム

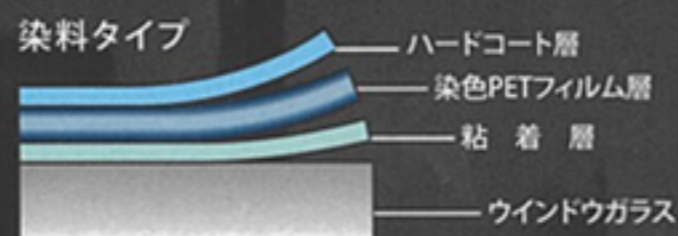
IKCのフィルムは、その用途や使用環境によって製造方法が異なります。カーフィルムにおいては、常にクリアな視界を確保しながら経年変化による退色(色あせ)や変色を防ぎ、機能を保つために、ほとんどの製品にあえてコストのかかる原着タイプを採用しています。原着タイプとは、原料となるPET樹脂にあらかじめ着色をしてからフィルム状に製膜する高度な製法です。

IKCが採用する 原着タイプカーフィルム



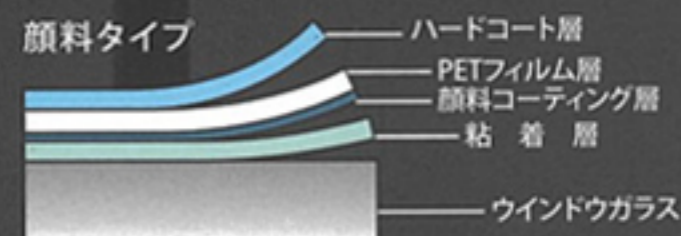
染料によって均一に着色されたPET樹脂を使用し、高い透明度と耐久性を両立しています。経年変化による変色が極めて少なく、施工時の濃度を長期間維持することが可能な高品質カーフィルムです。

染色タイプカーフィルム



透明PETフィルムを染料によって着色する製造方法です。色剤はPETフィルム表面から内部に拡散して存在し、PETフィルムの表層部から中心部にかけて色の差が生じます。

顔料タイプカーフィルム



透明PETフィルムに顔料(インク等)をコーティングする製造方法です。透明感では原着タイプより劣ります。

LUMICOOLSD® 光学特性

遮蔽係数とは、3mmフロートガラスを1.00として太陽光線の流入熱量を表した数値です。数値が小さい程、日射しによる室温上昇を防ぎエアコンの効率が良くなる傾向にあります。

品番	可視光線透過率(%)	紫外線カット率(%)	遮蔽係数
3mmフロートガラス(フィルム無)	91	35	1.00
NS-003HC ハードスモーク	3	99	0.67
NS-008HC ピークスモーク	7	99	0.70
NS-015HC ダルスモーク	13	99	0.72
NS-020HC レギュラーズモーク	20	99	0.75
NS-030HC ベールズモーク	30	99	0.78
NS-045HC ブライトスモーク	46	99	0.83

品番	可視光線透過率(%)	紫外線カット率(%)	遮蔽係数
MT-20メタリック	19	99	0.29
UV8000 高性能透明UVカットフィルム	91	99	0.96
FGR-3500 高機能透明遮熱タイプ	76	99	0.73

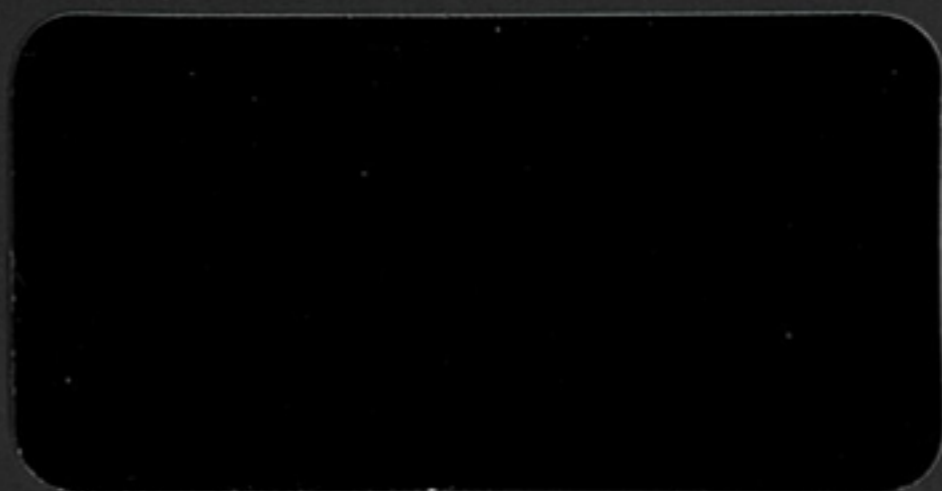
※上記データ(紫外線カット率は除く)は3mmフロートガラスにフィルムを貼り付け「自動車窓ガラス用フィルムJIS S 3107」に基づき測定した実測値であり、保証値ではありません。

LUMICOOLSD[®]

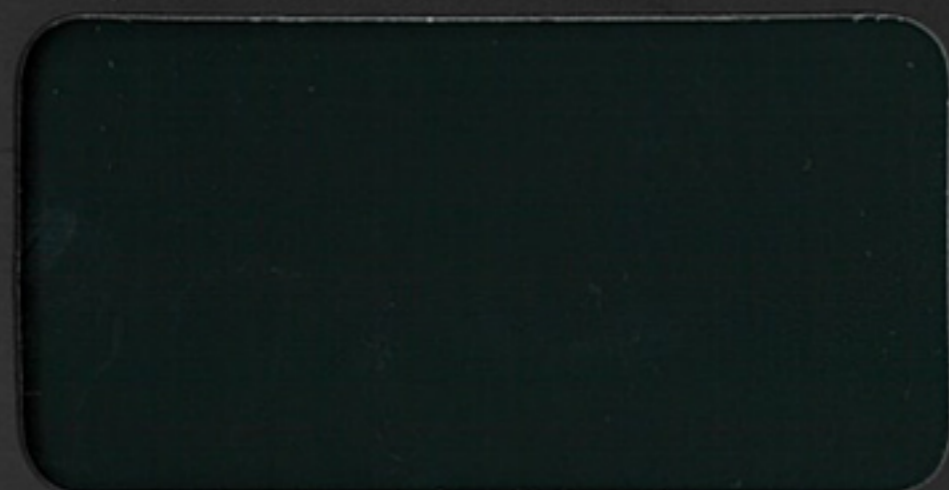
車内側から見たカラーサンプルです。
(サイズ1070mm×25M・FGR-3500のみ1070mm×20M)



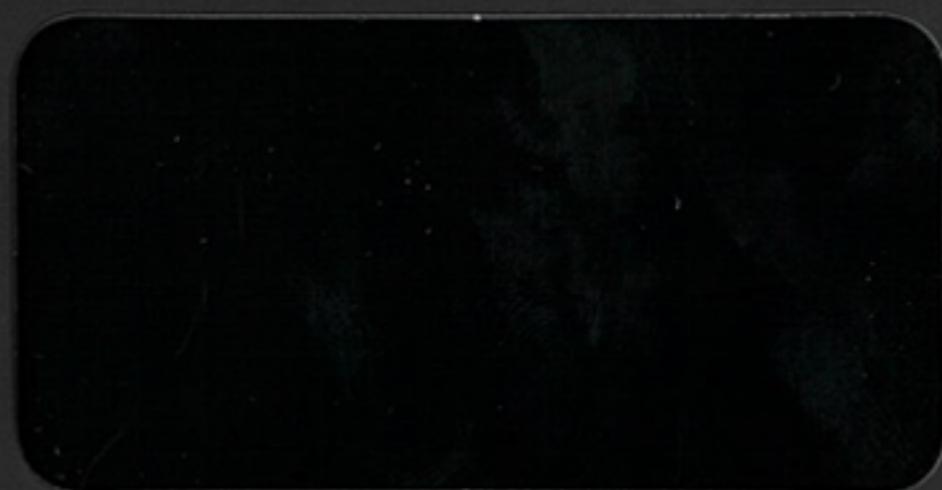
NS-008HC ピークスモーク



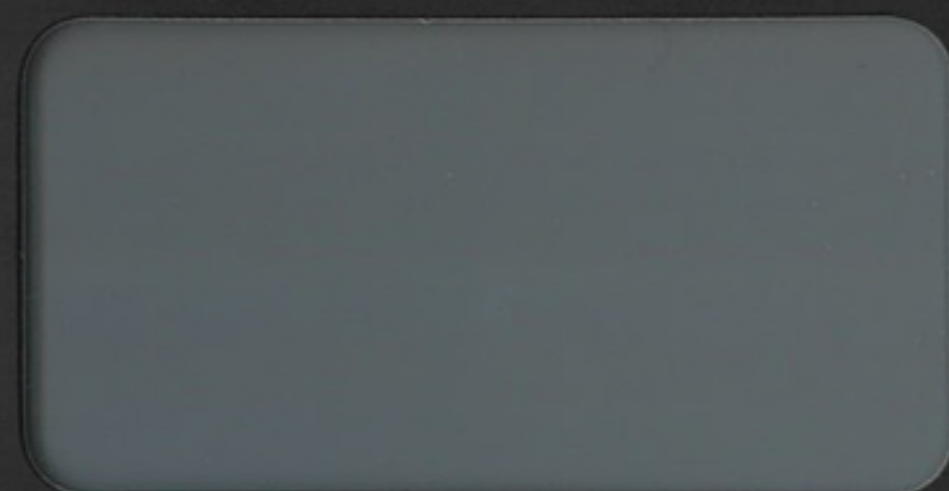
NS-003HC ハードスモーク



NS-020HC レギュラーズモーク



NS-015HC ダルスモーク



NS-045HC ブライトスモーク



NS-030HC ペールズモーク



MT-20 メタリック



UV8000 高性能透明UVカットフィルム



FGR-3500 高性能透明遮熱タイプ

LUMICOOLSD[®]

車外側から見たカラーサンプルです。
(サイズ1070mm×25M・FGR-3500のみ1070mm×20M)



NS-003HC ハードスモーク



NS-008HC ピークスモーク



NS-015HC ダルスモーク



NS-020HC レギュラーズモーク



NS-030HC ペールズモーク



NS-045HC ブライトスモーク



MT-20 メタリック



FGR-3500 高性能透明遮熱タイプ



UV8000 高性能透明UVカットフィルム

⚠️ ご注意

- カーフィルムは道路運送車両の保安基準によって下記の箇所に貼る場合は、その窓ガラスの可視光線透過率は70%以上が必要です。
1. 前面ガラス 2. 運転者席の側面ガラス 3. 助手席の側面ガラス
- 可視光線透過率の測定に関する注意事項
可視光線透過率の測定はJIS S 3107に基づき3mmフロートガラスに貼付し測定した実測値で保証値ではありません。
又、標記測定値は経年劣化や外的要因などにより、初期性能が維持されることを保証するものではありません。
可視光線測定器には測定誤差がありますので、公的機関での測定値を保証するものではありません。
- カーフィルム施工後、視認性が落ちる場合がありますので運転には十分お気をつけください。
- フィルム貼り付け直後は、リア熱線をOFFの状態にしてください。熱線を入れる場合は施工時の水分が完全に抜けてからにしてください。
- フィルムが完全に接着するまでは、窓の開閉やリア熱線をONにしないでください。
- 施工後フィルム表面の汚れは、中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。固い布やシンナー・ベンジン等のご使用はお避けください。
- 外貼り及びポリカーボネートへの施工はお避け下さい。

メタリックタイプについて

- 電波を遮断する作用があり、携帯電話・ナビゲーションシステム・テレビなどに影響を及ぼすことがありますのであらかじめご了承ください。
- フィルム貼り付け直後は、リア熱線をOFFの状態にしてください。リア熱線をONにしますとメタリック部分に異常を来す場合があります。
熱線を入れる場合は施工時の水分が完全に抜けてからにしてください。
- メタリックタイプ施工済車はドアを開けた状態で放置しますと、特にリアウインドウの内側が凹面状態になり、太陽光線の反射角、照射時間、熱量等により内装部材または可燃物の発火原因となる危険性がありますので、駐車中のドアの開放状態には十分ご注意ください。

※施工販売店様は必ずお客様に「ご注意」のご説明をお願いします。なお、ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせください。
※製品の仕様は、改良のため予告なく変更させていただくことがあります。



あなたの町の自動車ガラスプロショップ
日祝営業・即日作業

大川自動車硝子株式会社

- 相模原営業所 TEL : 042-745-3611
- 鶴ヶ峰営業所 TEL : 045-951-5258
- 海老名営業所 TEL : 046-237-2311
- 湘南台営業所 TEL : 0466-86-5810
- 国立営業所 TEL : 042-580-0083

製造・発売元

IKC

アイケーシー株式会社

〒533-0031 大阪府大阪市東淀川区西淡路4-3-4
大阪本社 TEL.06(7176)3321 FAX.06(7176)3323
〒140-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル15階
東京支社 TEL.03(6367)3338 FAX.03(5436)5078
中部営業所 TEL.052(201)7031 FAX.052(201)7032
広島営業所 TEL.082(510)5270 FAX.082(282)8890
九州営業所 TEL.092(474)8930 FAX.092(474)8940

<http://www.ikcplaza.co.jp>

<http://www.ikcplaza.co.jp/carfilm/> (カーフィルム専用ページ)